

	<p>(3) 未婚の人が多いが、婚活の場を提供したら。</p> <p>(4) 神上住宅(たいこ山)の町営住宅跡地の活用方法は。</p> <p>3. 住民死去の際、防災無線により和束町全域に情報提供望むもの</p>	<p>町長 総務課長</p>
<p>藤井 清隆</p>	<p>1. 再生可能エネルギー推進への手だては 本年4月、国のほうでは第5次環境基本計画を策定し、今後目指すべき社会像として「地域循環共生圏」を掲げております。これは各地域がそれぞれの地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成し、地域間で補完し支え合うという考え方で、国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)の実現にも繋がるものです。 また、我が国はパリ協定に基づいて2050年のCO2削減80%を目標にしております。そんな中、本町における地域資源を活用した循環型社会実現の為、また災害にも強い再生可能エネルギー推進の考えはどうか、お尋ねします。</p> <p>(1) 小規模水力発電導入の考えは。</p> <p>(2) 木質バイオエネルギーはどうか。</p> <p>(3) 太陽光発電の可能性は。</p> <p>2. 真に医療費削減につながるものは何か ～肉体の延命よりも納得のいく死を～ 医療費・介護費が増大を続けています。国は必死に抑制しようとしていますが少子高齢化の中、止まることを知りません。そこで小手先の技術ではなく、精神論を踏まえて考えてみようと思います。</p> <p>(1) 医者や薬に頼らない自然治癒力を基礎に据えた自己診断法等による医学的知識の普及を図るのはどうか。</p> <p>(2) 医療費の利用者負担を増やす。 現今の所得による医療保険料格差に加え利用の程度に応じて保険料を増減させる仕組みはどうか。病気の大半は生活習慣病なのであるから患者の自己責任を明確にする意味でも負担を増やすべきと考えるが。</p> <p>(3) 特に高齢者については、少しでも長生きを考えるのが一般的であるが、潔い死、尊厳死を目指すこと、従容とした死を迎えるように日常の生に死への準備を取り入れていく試みが求められると考えますがどうか。</p>	<p>町長 建設事業課長 農村振興課長</p> <p>町長 税住民課長 福祉課長</p>
<p>岡本 正意</p>	<p>1. 消費税増税に対する町長の姿勢を問う</p> <p>(1) 政府の増税方針に対する町長の考えは。</p> <p>(2) 増税が実施された場合の住民生活や地域経済への影響をどう想定し分析しているのか。</p> <p>(3) 来年10月からの増税に反対し、中止の要請を。</p>	<p>町長</p>

2. 水道料金値上げ方針について

- (1) 2020年度に25%値上げの計画に変更はないのか。
- (2) 値上げ方針を撤回し、一般会計からの繰入れと共に、国や府への財政支援の拡充要請を真剣に行い財源確保を。

町長
建設事業課長

3. 公共交通の充実を

- (1) コミュニティバスの検討状況は。
- (2) 路線バス運行の改善、路線再編について
 - ①次期ダイヤ改正での利便性改善の方向性は。
 - ②路線再編の検討、具体化はしているのか。もししているなら内容は。
- (3) 高校生通学補助制度の拡充を
 - ①バス定期代補助拡充に向けた検討状況は。来年度当初からの拡充実施を。
 - ②鉄道も含め通学費全体を対象にした制度への拡充を。

町長
総務課長

4. 「景観条例」制定の動きについて

- (1) 住民的議論が不十分でありパブリックコメントなど形式的な意見聴取で済まらず全行政区での説明会開催、中間案に対するアンケート実施など行うべきではないか。
- (2) 基本方針に「景観の保全、育成は、茶業の振興とともに進めなければならない。」とあるが具体的な展望は。特に担い手、後継者の育成への町としての思い切った施策が必要と考えるが町の方向性は。

町長